

(答弁者：町長)

ご質問にお答えします。

総合病院、大変重要なご質問です。

結論から申し上げますと、安心してください、作ります。

ただし、さすがに浪江町単独では費用も運営も難しいので、県や周辺の町村と協力して、「近隣の地域の中に作る」、ということになります。

具体的には、先日の新聞を読まれたかもしれませんが、震災前に大熊町にあった「県立大野病院」、これを建て替えて、この近隣町村の中核となるような病院を大熊町に作る、まだ少し時間がかかりますが、そういう計画が、現在福島県においてすすめられております。

先ほどからの議員のご質問の中に、重要な視点がいくつかございました。

1つ目は、高齢者の重症化などにも対応できる「高度医療」。

2つ目は、子どもたちの急な大ケガにも対応できる「救急医療」。

そして3つ目は、目の病気や産婦人科などもふくめ、世の中には様々な疾病や疾患がありますので、それらにも対応していける「多様な診療科目」。

まさにこうした役割を担えるようなものとして、地域の中核となる総合病院が設置されていくことになります。

それともう1つ、「では、こうした大きな総合病院ができたなら、小さな浪江診療所はもういらなくなるのかな？」と思うかもしれませんが、実はそうではありません。

「ちょっと風邪気味なのでお薬いただけないかな」と思ったときに、総合病院で5時間待って、診察5分で、お薬を頂くのに2時間待って、となったら、風邪気味だったのが肺炎になってしまうかもしれません。総合病院の方でも、風邪気味の方を大勢診察している間に、先ほど出てきた高度医療の手術や、救急車で運ばれてきた人の救急医療に、支障が出てしまうかもしれません。

「医療連携」という言葉を、看護師のご家族の方から聞いたことがあるかもしれませんが、浪江診療所は身近なお医者さんとしての役割を果たしながら、手術や入院が必要な時には総合病院へ紹介して、退院したらまた診療所に通院する、といった役割分担をしながら、みなさんが安心して生活できるような医療体制を、しっかりと作っていきたいと考えております。

移住者もきっと増えてくれると思っています。総合病院のご質問、ありがとうございました。